

植	物	
防	疫	
講	座	

## 病害編-36

## 芝草病害の発生生態と防除

中部リケン株式会社 **や** **ぐち** **しげ** **はる**  
**矢** **口** **重** **治**

前号に続き、本稿では芝草病害の種類とその特徴について紹介する。

### III 芝草病害の種類と特徴

芝草病害には線虫（水野ら，2018）、糸状菌、細菌、ファイトプラズマおよびウイルスが関与するが、糸状菌が全体の84%を占めるとの報告（一谷，2014；表-8）もある。

#### 1 リゾクトニア病

##### （1）日本芝

1)葉腐病（ラージパッチ） [*Rhizoctonia solani* AG2-2 LP] 症状（診断のポイント）（図-5）：①パッチは褐色，円形または不整形，直径10 cm程度のものから数mに及ぶものもある。融合すればさらに大きくなる。②春期および秋期の年2回発生する。排水不良個所などで，緑が不鮮明で不整形なパッチが見られたら，茎が容易に抜けるかどうかを確かめる。引き抜けた茎基部が水浸状になっ

ている場合が多いので，注意して観察する。さらに，病勢が進むと，パッチの縁は赤褐色になる。

発生条件：①通常，発生は4月上旬～6月下旬，9月下旬～10月下旬であるが，気温，降水量等の影響を受けて変動する。②病原菌をソッド（切りシバ）とともに持ち込むことが多い。③芝の張り替えやバーチカルモア等で傷を付けると発生しやすい。④土壌pHがアルカリ性に傾くと発生しやすい。⑤排水不良個所では，発病が早く発生量も多い。

予防作業：①排水をよくする。②窒素量を減らす。③芝の張り替え時，目土入れ，サッチの除去等の作業前には，本病に対して予防処理をしておくといよい。④表層土のpHを酸性側に調整する。⑤日陰を少なくして，風通しをよくして，ターフ表面を乾くようにする。⑥午後遅くや夕方の散水は避ける。⑦サッチの除去。⑧春の薬剤散布は，初発期またはその直前，秋には芝の本病からの回復が遅れるので散布は春よりも早めに行う。激発コース

表-8 我が国の芝草に見られる病原の種類と病害数

芝草	ウイルス	ファイトプラズマ	細菌	糸状菌	線虫	計
<b>【寒地型】</b>						
ベントグラス類	0	0	4	25	1	30
ブルーグラス類	0	0	0	9	0	9
フェスク類	1	0	0	3	0	3
ライグラス類	0	0	1	15	1	17
その他	0	0	0	3	0	3
小計	1	0	5	55	2	63
各病害の割合（%）	2	0	8	87	3	100
<b>【暖地型】</b>						
日本芝	1	1	0	15	5	22
バミューダグラス類	0	0	0	5	0	5
その他	0	0	0	4	0	4
小計	1	1	0	24	5	31
各病害の割合（%）	3	3	0	78	16	100
合計	2	1	5	79	7	94
各芝草病害の全芝草病害に対する割合（%）	2	1	5	84	8	100

一谷（2014）より抜粋